

原水爆禁止世界大会に参加！

…世界の変化を実感した3日間…市議会議員 平野文活…



8月7日から9日まで、長崎で開かれた原水爆禁止世界大会に、十数年ぶりに参加してきました。

日本政府の立場は、核兵器廃絶は「究極的目標」であり、当面は「アメリカの核の傘は抑止力として必要」というものです。

ところが国連では「2020年までに核兵器の全廃」を求められています。この目標を世界の大多数の国の政府が核保有国に突きつけている・・・この事実は衝撃的でした。

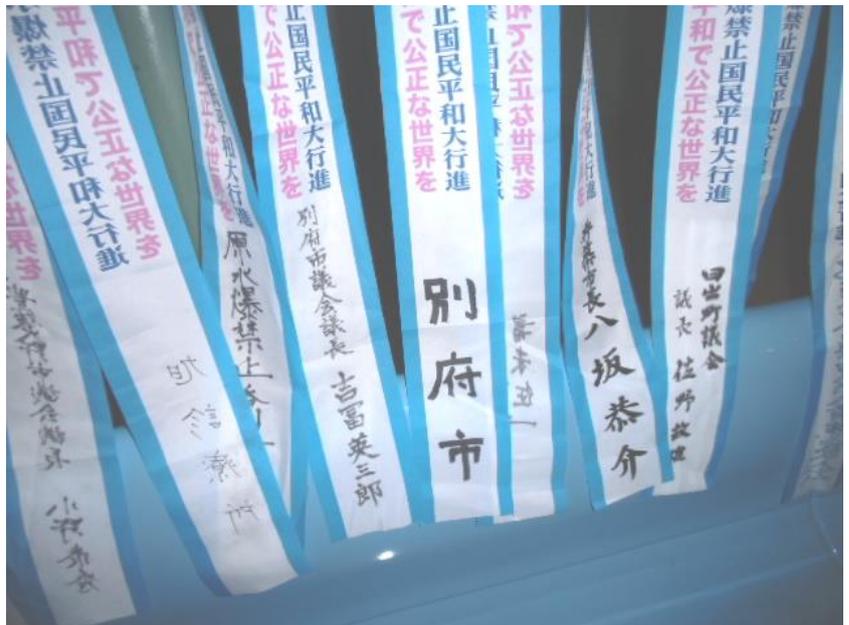
日本政府だけを見ていては、世界は見えない。世界の変化を実感した3日間でした。

数千本のペナント

このなかに、別府市と吉富議長のペナントもありました。

全国11コースの「国民平和行進」の行く先々で寄せられた核兵器廃絶の願いがこもったペナントが、広い会場に展示されています。

探しまわって「別府市」「吉富英三郎議長」署名のペナントを見つけました。



げんきニュース

市議会議員 平野文活 えんど久子

2013年8月14日

NO, 567

国連代表、各国政府代表、オリバー・ストーン監督も参加 2015 年の国連会議に向けて 7,000 人の熱気あふれる！

今年の原水禁世界大会は、8月3日から国際会議、5～6日の広島集会、7～9日の世界大会・長崎の日程で行われました。

国連軍縮問題上級代表は6年連続参加、メキシコ、マレーシア、キューバ、エジプト、イラン、ノルウェーの政府代表を含む19ヶ国88人の海外代表、日本各地から参加した7千人の熱気であふれました。また映画『プラトーン』などで米アカデミー賞を受賞したオリバー・ストーン監督が参加して、9日の閉会総会で訴えたことも話題を呼びました。



大阪の青年とともに訴える辰巳コータロー参議



分科会で一緒になった吉良よし子参議と

今回の世界大会参加の大収穫は、東京・大阪で当選した吉良よし子さんと辰巳コータローさんのナマのあいさつを聞いたことです。お二人とも選挙戦の勢いそのままに熱烈なメッセージを発信していました。

全体集会と分科会の合間の8日午前、原爆資料館と祈念式典の準備を終えた平和公園に行きました。

帰宅した9日夕方のNHKニュースで、田上長崎市長が安倍総理を前に「80ヶ国が署名した共同声明に日本政府はなぜ署名しなかったのか」と問いかけたが、安倍総理からの回答はなかったと伝え、ニュースを読むむアナウンサーも「唯一の被爆国の日本がなぜ核廃絶の先頭に立てないのか」とコメントしていました。

今年3月の国連NPT準備委員会で「いかなる状況下においても核兵器の使用禁止」の共同声明が提起されたが、日本は「いかなる状況下でも」の文言削除を求め、受け入れられなかったとして署名を拒否したのです。恥ずかしい態度です。